

## みどりの丘保育園

## ✿2013年度の活動報告

## 今年度の方針

**1 法人の理念を引き継ぎ、職員一人ひとりが意見を出し合いながら、子どもにとって・保護者にとって安心して預けられる保育園をめざす。**

- ・職員会議で発達の読み合わせをし、日々の保育を振り返り発達や遊びについて意見を出し合った。
- ・園内研修、私立保育園連合会、経営懇研修、東社協、品川区等外に出て研修をし、計画的に会議で報告しあい共通の理解を深めあった。
- ・法人研修では、理念や子どもの人権を学び、子どもの思いを受けとめる事の大切さを、職員全体で感じあえた。

**2 安全に、安心して生活がおくれるよう、保育環境を整える。**

## &lt;施設・設備について&gt;

- ・中規模修繕・屋上防水で約2ヶ月間工事があったが、大きな混乱もなく無事に終わった。
- ・EVの故障が2回あったが、いずれも早急に修理を依頼した。
- ・ガラスの破損…増築建物1歳児室・2F非常階段開閉ガラスのひび割れがあり、施工業者が修理する。
- ・2F、3歳児室と5歳児室のガラス破損に関して安全対策を講じていく。
- ・乳児室のエアコン設置場所にルーバー取り付け工事を行なう。天窓等含め掃除がしにくい保育室で、検討課題だ。
- ・園庭や室内での大きな怪我がなく、門扉、スロープ、2Fまでの階段含め、子どもたちが日々の生活や遊びを通して自然に力を獲得していていると実感した。
- ・開園当初から継続して、放射能線量の計測をしている。

**3 地域とのつながりを積極的に持ち、交流する場をつくっていく。地域に根ざした保育園づくりをめざす。**

- ・パートナー保育登録者・保育体験・子育て講座年三回行った。更に地域に根ざしていく必要性を実感した。  
(資料①参照)

**4 保護者と共に、手つなぎできる事を共に考え合い、1年かけて「父母の会」の結成をよびかけていく。**

- ・子どもを真ん中に「父母の会」準備会の方々と一緒に保育園の行事を考えあい、1年かけて会の発足をめざした。

## &lt;発足までの取組&gt;

- ・準備会として有志で集まり、主に夕涼み会を中心に、活動をしていった。又同時に発足に向けて積極的に話し合いが行われた(資料②参照)

## &lt;保育&gt;

- ・小さな事でも報告・連絡・相談し合い「安心して預けられる保育園」をめざす。
- ・1年目に多かった怪我による通院が減った。保育環境(物的・人的)を考え合ったり、牛乳パックでコーナーを作り、ひとり一人の遊びを保障していった。まだまだ十分ではなく各クラスで作成中である。
- ・第三者評価では殆どの保護者は満足という結果だったが、職員によっては対応にバラツキがある・怪我に対する方針が不十分・幼児組の保育内容に対する不満や要望等のご意見を頂いた。懇談会等で園の方針や保育の見通しを伝えながら、ご理解を得られるよう努力をしている。
- ・非常勤職員との連携では、保育の見方で現場から悩みが出され、各リーダーが、クラスの方針を伝えながら同じ見方が出来るよう努力した。十分なミーティングではなかったが、伝えあう事の大切さを学んだ。

- ・リーダー会議を定例で持ち運営できたことは良かった。
- ・ふれあい動物園や焼き芋会、年長児は給食体験をし、緑の家保育園との交流を持つ。年賀状を書いて出した。「おたのしみこども会」「卒園式」を前にメッセージをもらう中で、年長児2人だけではないつながりを感じて過ごせた事はよかった。
- ・初めての卒園児を迎え、園全体で2人を祝う気持ちが伝わり思い出深い、いい卒園式となった。

<給食>

- ・アレルギー児の対応について、指示書を基にメニューのチェック・給食室と保育士で複唱しあう等細心の注意をはらい提供した。
- ・新年度8名のアレルギー児（大豆、ゴマ、鶏卵、牛乳）の対応。中でも1歳児は5名と多く、誤食予防の確認を細かくした。（席の配慮・順番等・午睡までの流等）
- ・昨年度の誤食2件…①大豆アレルギー児の醤油焼きおにぎり提供  
②牛乳アレルギー児のヨーグルト提供  
\*2件共、家庭では負荷検査であげていた事がわかったが、家庭と園の伝えあいが不十分だった。看護師・栄養士・担任の連携を更に密にしていく事を確認しあった。
- ・給食用食材の放射性物質検査を年2回受け、(8月1日・10月30日)検査結果を掲示した。4品目いづれもセシウム検出せず。安全で旬の食材の提供に心がける。

<保健>

- ・感染症及び、日々の健康・衛生に関してシラミ2世帯に発生し駆除。
- ・インフルエンザが12月中旬より流行。一時10名を超える感染者が出た。予防をしていたが近隣の小学校や兄弟関係等感染拡大を防ぎきれなかった。発症は1月29日～3月14日と長い期間に及んだ。区の保健予防課へ報告し指導を受けた。
- ・感染症に関して、緑の家と連絡を取り合い進められた事がよかった。

<研修計画・人材育成>

- ・経営懇研修では乳児保育、障害児保育、長時間、夜間保育の担当者が参加し、他園の保育内容を学ぶ。
- ・年齢別研修、アレルギー児の保育園での対応、保育園の危機管理等、区主催や東社協の研修に参加し報告し合う中で共通の理解を深めた。特に危機管理の研修では地震から子どもを守る為に保育園としての役割を再確認しあった。

<保護者との連携・地域活動>

- ・2年目に入り、保護者の方の見通しもあり、保育園の行事や活動に対して理解が得られた。又子どもの育ちを懇談会や個人面談等で伝えあい、保育園や家庭の姿が一致して行けるよう努めた。
- ・子育て情報誌「みどりの丘だより」を定期発行し、行事や「こどもの日の会」「七夕の会」「おひなさまの会」等に参加し交流を深めた。

H25年度園児数

区分/月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	他区含む
0歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108	
1歳児	8	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	117	129
2歳児	10	10	10	11	11	11	11	11	11	11	11	11	129	141
3歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	142	
4歳児	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	52	75
5歳児	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	25	
合計	47	48	48	49	48	48	48	48	48	48	47	46	573	620

## 資料①

2 地域とのつながりを積極的に持ち、交流する場をつくっていく。地域に根ざした保育園づくりをめざす。

① パートナー保育登録者…今年度 36 件→登録者の中で 3 名が 26 年度に入園している。(昨年度 27 件)  
見学者の殆が登録してくれた。

### ②保育体験

…21 世帯参加

- ・「マミーと遊ぼう」は 8 世帯参加で、わらべうた、ふれあい遊びを通して親子で各クラスの子どもたちと触れ合う機会を積極的に作った。「次回も参加したい。」という方が、何回か参加し、子どもの成長を話す機会もあった。
- ・その他行事…納涼会、焼き芋会、クリスマス会、豆まき会、ひな祭りの会等行事を楽しみに参加して頂けた。

### ② 育て講座年三回

…第一回 6月22日(土) 10:00~11:00

テーマ「楽しく子育てを」

担当 小川

参加者 3 世帯

第二回 10月19日(土) 10:00~11:00

テーマ「丈夫な身体づくり」

担当 星野

参加者 3 世帯

第三回 1月18日(土) 10:00~11:00

テーマ「子どもたちにとって食事とは…」

担当 森

参加者 4 世帯

\*今後の育児講座に「父親講座」の要望等もあった。来年度に生かしていく。

## 資料②

3 保護者と共に、手つなぎできる事を共に考え合い、1年かけて「父母の会」の結成をよびかけていく。

<保護者からの意見から父母会発足へ…>

- ・2012年8月「夕涼み会」のアンケートの中に、「父母会があったら一緒に取り組み、もっと楽しめたのでは…」という意見があった。
- ・園運営を一緒に考えるうえで、保護者と共に、子どもの育ちを共感しあう。

<発足までの取組>

- ① 2013年4月26日(金) 全体懇談会に緑の家保育園父母の会、会長を呼び「父母会活動」を話して頂く。時間が短かったため保護者に方から「もっと詳しく知りたい」という要望がでる。
- ② 2013年6月12日(水) 父母の会前会長による説明会を開く。14名参加。  
会則や会費に関しての説明、1年間の活動内容を話して頂いた。保護者からの質問もあり、丁寧に応えて頂いた。園から理事長、園長、主任が参加。
- ③ 2013年6月18日(水) 父母の会準備会発足ニュース発行…暫定役員14名で発足に向けてニュースを発行。
- ④ 7月4日(水) 父母会準備会の今後のスケジュール発行。主に「夕涼み会」に向け日程を組み、24日(水)、8月7日(水)21日(水)、計4回の会を開き夕涼み会のゲームコーナーを担当。(夕涼み会の担当職員も一緒に参加する。)
- ⑤ 12月11日(水) クリスマス会に向けてカードを作成。  
\*準備会の中で保護者同志連各を取り合い発足に向けて準備をする。
- ⑥2014年3月24日(月) H26年度発足の為の「父母の会」第一回幹事会で会則・役員・年間活動・予算案等を準備会で話し合う。

